



TKK 共通シラバス

1. 科目名	環境情報学				
2. 教員名	古武家 善成		3. 担当大学	神戸学院大学	
4. 対象学年	2年以上	5. 開講時期	前期	6. 単位数	2単位

7. 授業のねらい及び具体的な達成目標

環境問題に対処しようとする場合、環境悪化を示す量的質的变化や環境汚染物質に暴露された時の生体反応は、問題解決のための重要な情報になる。また、環境リスク情報は、環境問題での意思決定において極めて重要な役割を果たす。

本講義では、このような環境情報を切り口に環境科学の最新像を学ぶ。また、自分で環境情報を得てデータ解析を行い、結果を評価する実習を体験する。

なお、環境情報について理解するためには環境問題全般への関心が不可欠との観点から、講義の最初に日々の環境問題に関するニュースを解説し、ニュースを読み解く力を養う。また、環境問題のニュースを題材にしたディベートやビデオ鑑賞を行い、環境情報に関する理解を深める。

8. 参考図書

「社会貢献活動支援士 公式テキスト」(TKK 各センターへお問い合わせください)
 環境科学の基礎：「明日の環境と人間(第3版)」川合真一郎，山本義和，化学同人(2004)
 環境情報：「環境年表 2004/2005」茅 陽一監修，オーム社(2003)
 毒性情報：「化学物質と生態毒性(改訂版)」若林明子，丸善(2003)
 リスク情報：「リスク学事典(増補改訂版)」日本リスク学会編，TBSブリタニカ(2006)

9. 事前、事後に受講してほしい講義等

【事前に受講してほしい講義等】

【事後に受講してほしい講義等】

環境問題を扱う連続講義として、「環境政策ビジネス論」の受講が望ましい。

10. 提出課題など

課題に関するレポート提出

11. 評価基準

授業への出席，環境ディベートへの対応，小テスト，レポート提出を合わせ総合評価する。
 レポート提出が最も重視される。

12. 学生へのメッセージ、要望。

授業の内容や環境問題に関する質問，環境分野への進路相談など大歓迎です。気軽に話しに来てください

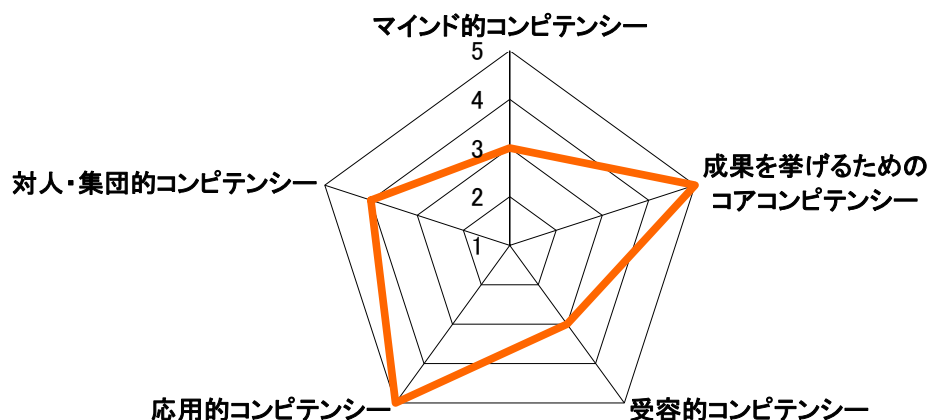
13. 参考(ホームページ、オフィスアワー等)

【授業計画】

講義番号	主題	内容
第1回	ガイダンスと序論	授業概要, 環境問題史概論
第2回	環境科学の基礎1	物質循環と汚染, 環境問題の現状と課題
第3回	環境科学の基礎2	環境法体系と規制・管理・監視
第4回	環境情報論	環境情報の質と特性, 検出系としての分析法体系
第5回	生体情報論	生体情報の種類と伝達系, 生体情報攪乱要因と環境問題
第6回	環境情報の理解	環境情報・生体情報に関するビデオ鑑賞
第7回	環境毒性・環境リスク情報論	毒性の種類と発現機構, 検知系, 影響, リスクアナリシス
第8回	環境情報の収集	環境情報収集の基礎, Web サイトの検索法
第9回	環境情報の解析 —環境統計論—	環境統計の基礎
第10回	環境ディベート1	環境問題に関するディベートイング (環境情報の発信)
第11回	環境ディベート2	環境問題に関するディベートイング (環境情報の発信)
第12回	実習1 環境の簡易測定	簡易測定キットによる水質分析
第13回	実習2 測定データ解析	Excel による分析結果の整理・基礎統計量の算出
第14回	実習3 測定データ評価	Excel による分析結果の図表化・評価
第15回	まとめ	まとめと小テスト

【コンピテンシー】

本講義を通して身につけることが期待されるコンピテンシーは、以下のグラフを目安にしてください。



コメント